

# \*\*\* 今日の健康（7月） \*\*\*

## 夏にはやる子供の皮膚病

みずいぼ治療について（プールに入れない子供のために）

### < 概要 >

みずいぼ（伝染性軟属腫）はウイルスによって起こる疾患です。10歳以下、特に幼稚園前後の子ども達に起こります。形は、直径5mmほどの半球状に盛り上がったやや光沢のある丘疹で、いぼの真ん中がへそ状に凹んでいるのが特徴で、色は白から肌色、赤みがかったものまで様々です。つぶすと中から白い物がでてきて、これが直接的に皮膚の違う場所にくっついたり、他のヒトに付いて伝染していきます。みずいぼで困ることは、プールに入れなくなることです。

### < 治療 >

やや乱暴ですが「いぼをピンセットでつまみとる」のが一般的な方法です。しかし、放置しておいても抗体が出来れば数ヶ月から1年で自然に治癒しますが、そのかわりその夏はプールには入れません。みずいぼを無痛的にとる方法として、前もってゼリー状の麻酔薬を塗ったり、テープ状の局所麻酔薬を貼ることもあります。つまみとる場合は、注意してとらないと返ってみずいぼを広げてしまったりします。

このほかには、硝酸銀軟膏を塗布したり、漢方薬による治療方法があります。

### < 治療上の注意 >

アトピー性皮膚炎を合併している場合は、まず湿疹の治療を行い、その後でみずいぼの治療を行うことがよいとされています。

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り多摩信用金庫のななめ裏